

新型コロナウイルス感染症対策の進捗に関する関係閣僚会議（第4回）
議事概要

1 日時

令和3年7月21日（水）16時43分～17時08分

2 場所

官邸4階大会議室

3 出席者

菅 義偉	内閣総理大臣
武田 良太	総務大臣
萩生田 光一	文部科学大臣
田村 憲久	厚生労働大臣
梶山 弘志	経済産業大臣
赤羽 一嘉	国土交通大臣
加藤 勝信	内閣官房長官
河野 太郎	国務大臣
西村 康稔	国務大臣
和泉 洋人	内閣総理大臣補佐官
吉田 学	新型コロナウイルス感染症対策推進室長
藤井 健志	内閣官房副長官補
福島 靖正	厚生労働省医務技監
小野 日子	内閣広報官

4 議事概要

- 厚生労働大臣から、資料1に基づき、最近の感染状況等について説明。

- 河野国務大臣から、資料3に基づき、ワクチン接種の状況について説明。

○意見交換

（西村国務大臣）

- ・ ワクチン接種が進むにつれ、重症者数や死亡者数の増加が抑えられている。他方、東京などにおける若者や中年の新規感染者数の急増への対応が課題になっている。
- ・ 専門家や臨床の医師とも意見交換を行っているが、次のような指摘がある。今回の感染拡大は、若者・中年層が主体であり、重症化の比率は今のところ少ない。他方、当面40代・50代の中等症の増加が見込まれ、このまま続けば、医療機関の負荷が増大することが考えられる。また、自宅療養者数の急増が見込まれることか

ら、ケアの目を行き届きにくくなる事態を懸念している。

- ・ この若年層・中年層の方々にワクチンが行き渡るまでの今しばらくの期間に、感染者数の急増によって、医療・宿泊療養・自宅療養の限界を超えることがないよう、医療提供体制の一層の確保と併せ、人流の抑制、宅飲み、路上飲みを含めた飲食を起点とした感染拡大防止にも、引き続き、理解を得ながら、協力を得られるよう取り組んでいきたい。
- ・ 夏休み期間中の移動の増加に向けて、県をまたぐ移動は控えていただいているが、北海道・沖縄の方々や、やむを得ず移動する方々の安心を確保する観点から、羽田・成田・伊丹・関空・福岡空港からこの北海道・沖縄に向かう便の搭乗者に対して、無料のPCR検査・抗原検査を勧奨することを、昨日から開始した。
- ・ 今後ワクチン接種が順調に進めば、この8月下旬には接種状況が今のヨーロッパと同様の水準となる。その頃に、また、希望者全員が接種を完了する10月・11月頃に、人々の生活がどう変わるのか、何が可能になるのかについて、分科会の専門家に検討をお願いしている。

(文部科学大臣)

- ・ 若年世代の感染者の増加を注視している。他方、この夏、高校生や中学生などはスポーツや文化の発表の場を控えており、これはできる限り開催を前提に支援をしている。
- ・ 例えば、大会会場での感染症対策のための経費等を補助する制度などを設けている。一方、こうした大会等については、自治体の運用も重要となるため、自治体への発信の仕方について、西村大臣ともよく連携していきたい。文科省や教育委員会にもよく相談いただきたい。

(内閣総理大臣)

- ・ 高齢者の重症者数は増えているのか。

(厚生労働大臣)

- ・ 重症者数は、若干増えているところはあるが、感染者数と比べると状況は全く異なる。
- ・ なお、40代、50代は重症者化リスクがまだある。30代以下については、東京では感染者の65%程度の割合となっている。40代、50代にワクチンがもう少し行き渡れば、40代、50代の感染者が減少する可能性はある。

(国土交通大臣)

- ・ 人流の抑制の呼びかけにあたっては、人流イコール悪といった誤解を生まないよう、移動中の感染対策や移動先での行動規制など、発信の仕方を工夫する必要がある。

(西村国務大臣)

- ・ 学校については、抗原検査キットを用いて少しでも具合の悪い人について早く検査をしていただきたいと伝えている。
- ・ また、人流の抑制については、専門家からは移動を控えることの重要性が指摘されているが、分散休暇の取得やテレワークなどの働きかけも行っている。

(内閣官房長官)

- ・ それぞれよく連携しながら対応していただきたい。

○内閣総理大臣より発言

- ・ 感染状況やワクチン接種の状況について、改めて分析を行い、議論した。
- ・ 東京都の新規感染者数は本日 1,832 人になるなど、首都圏を中心とする地域で感染者の大幅増加が続いている。一方、ワクチンの接種が進むにつれ、感染者の内訳には大きな変化が見られている。東京における新規感染者に占める 65 歳以上の方の割合は、本年 3 月の 20 パーセント台から、足下では 3 パーセント台まで低下している。
- ・ また、最もリスクの高い 70 歳以上の方についても、新規感染者や重症者の増加という兆候は見られていない。
- ・ それに伴い、東京都の重症者数は連日 60 人前後で推移し、今しばらく注視を続ける必要があると考えている。これまでの感染拡大局面で見られたような新規感染者の増加に伴う重症者の急増といった兆しは見られていない。
- ・ 一方で、20 代から 40 代の感染者が増え、感染者の多数を占めている。40 代以上の方々であっても重症化のリスク、そして、若い方でも深刻な後遺症のリスクが指摘されている。
- ・ 引き続き、高いレベルで警戒を続け、対策を続ける必要がある。
- ・ 明日から 4 連休となり、オリンピックが始まる。国民の皆様におかれては、御家族と御一緒に家庭からテレビでアスリートを応援していただきたい。
- ・ そして、東京や措置の対象地域の方々におかれては、できる限り、テレワークに御協力いただいて、不要不急の外出を控えていただくようお願いする。
- ・ 首都高を始め、交通対策が実施され、それに伴い、一般道での混雑などの御迷惑をおかけするが、ドライバーの皆様にも御協力いただくようお願いする。
- ・ 今回、厚生労働省より、ワクチンの接種が、感染を抑えるという定量的なデータが発表された。
- ・ ワクチン未接種の 65 歳以上の方では 10 万人当たりの新規感染者が 13 人であったのに対し、2 回の接種を終えた方では、それが 0.9 人と低下し、10 分の 1 以下に抑えられた結果になっている。
- ・ 現在、足元のワクチン接種回数は 7,400 万回に達し、高齢者の 83 パーセントの方が 1 回目の接種を終え、62 パーセントの方が 2 回目の接種を終えている。
- ・ 1 日 20 万回程度行われている職域や大学での接種に加えて、1 日 120 万回程度の接種ができるワクチンを各自治体に配分する。

- ・ 7月末までには高齢者の接種を完了し、10月から11月にかけて早い時期に、希望される全ての国民の皆さんの接種の完了を目指していきたいと思う。
- ・ これから夏休みの期間を迎えるに当たり、足元の感染拡大を抑え、ワクチン接種を進めるべく、各大臣におかれては、御協力をお願いする。

以 上